

  
  

# 読者のたより

韓国訪問  
佛教交流盛んに

大本山永平寺  
南澤道人老師

御尊董老師には益々御多祥にて御接化の趣 大慶至極に存じあげます。

先般 私共一同訪韓につきましては格別の御高配を賜わりました、各名利老宗師方に御紹介頂きお陰を以て、通度寺様では方丈月下宗正老師、副方丈情霞老師共に歓迎の式禮をもってお迎え頂き、又、松廣寺・佛國寺等、李先生の御案内もありすべて御丁寧な御応対を頂きました。

一重に御老師の御鳳声の賜物と有難く存じ厚く御禮申しあげます。

天候にも恵まれ東國大学では平和の祈りを大靈山法要で前座を修行して頂き、韓国の保存文化財としての声明の極致を拝聴することが出来ました。

尚今後更に両国佛教交流を盛んにしていきたいと思いますので、今後共御指導をお願い申しあげます。



留学僧育英の  
聖業に感謝

横浜市

白幡憲佑(浄土宗)老師

この度は教化誌成寿秋季号  
を御恵与賜わり厚礼申上げま  
す。

貴師の教化への御精進につ  
いては常々敬意を表しており  
ました。とりわけ留学僧育英  
の聖業は私共の全佛が実行せ  
ねばならぬ仕事であり、貴師  
の御苦勞に衷心より感謝申上  
げます。成寿誌を早速に熟読  
させて頂きます。

袈裟についての懸案の  
発表が叶う

東京都大田区

水野弥穂子先生

成寿誌第二十六号御恵与に  
あずかりましてまことに恐れ  
入りました。拙稿に関しまし  
ては特にお手数をおかけいた  
しましたが、おかげさまで私  
の袈裟についての懸案の発表  
が叶いました。あつく御礼申  
上げます。愛知学院は去る六  
月、公開講演会に参りました  
こともあり、大変親しみを持  
って拝見いたしました。

貴誌の一層のご発展を心か  
らお祈り申し上げます。

日本並びに米国へ旅行

台北大学元教授

葉阿月先生

黒田老師御夫妻をはじめ皆  
様には相変らず御清栄にて御  
活躍なさいますこと嬉しく存  
じます。愚生は六月中旬から  
約三カ月余、貴国並びに米国  
へと旅行しました。その間に  
「成寿」秋季号をご恵贈下さ  
いまして心から厚くお礼を申  
し上げます。勿論貴雑誌及び  
貴育英会の必要文件は、当善  
友会の図書室に陳列させてい  
ますので、今後共どうぞ宜し  
くお願い申し上げます。

成寿で知る日頃の  
ご活躍の様子

東京都杉並区  
長沼基之様

(立正佼成会特別顧問)

この度は「成寿」秋季号を御恵送賜り誠に有難うございました。日頃の黒田先生のご活躍の様子を知ることができました。

お袈裟特集記事から仏教徒の一人としてお袈裟の意味がわかりました。特に池沢さんの「遠山如法衣」を大禅師さまに献納のお話には私も感激しました。そして黒田先生の「足るを知る」の記事には人間として大切なことをご指導

頂き、神仏のご加護のあることを教えて頂きました。ますます御壮健で黒田先生のご活躍を期待申しあげます。

近年の袈裟研究が  
まとまった如き思い

名古屋  
市  
川口高風先生

今般「成寿」第二十六号を恵与賜わり厚く御礼申し上げます。

愛知学院、袈裟特集があまり大変参考となります。近年の袈裟研究がまとまった如き思いです。これからゆつくりと拝読します。「成寿」誌が

仏教雑誌として活躍されんことを祈念申し上げ、更に方丈老師の御活躍も祈念申し上げます。

お袈裟の特集号に  
法幸至極

島根県松江市  
田中一弘様

宗門は勿論全仏教界を通しても見られない大事業を遂行していただけますことに驚嘆と敬意を表する次第であります。『中外日報』紙で『成寿』ご発刊のことを知り、「お袈裟」について勉強いたしました。贈与方お願いいたしましたところ、早速御聴許、外に、

『法燈は海を越えて』『論文集II』併せてご送付頂き、ご芳情の段厚くあつく御礼申し上げます。

『成寿』はお袈裟の特集号でお陰様で法幸至極であります。

『法燈は海を越えて』

『論文集II』

瞥見いたしました。

前者は波瀾万丈、尊老師様のご活躍ぶりが示されており、懦夫をして感奮激励せしめる底の文章に老人身体のふるえる感を覚えた次第であります。論文集は秋の夜長の楽しみに致します。なお活字が大きくてお心遣いのほどを相

偲びました。

### 禅堂で次女が誕生

アメリカ合衆国  
藤田一照様

御無沙汰しております。予定日より十日ほど遅れて七月十七日朝六時二十八分（アメリカ東部時間）、元氣な赤ん坊が禅堂で誕生しました。体重三四一〇グラム、身長四九・五センチの女の子で真澄（ますみ）という名前を付けました。その朝の空は彼女の名前にふさわしくみごとに澄み渡っていました。リーナさんという日本語の達者なアメリカ

人の産婆さんが助産してくれ陣痛を感じてからわずかに四時間ほどで産まりました。早紀もずっと立ち会いましたが思いのほか落ち着いていて尚美（妻）の手をにぎったり背中をさすったりして彼女なりに精一杯手伝ってくれました。赤ん坊が産まれる瞬間もしっかりと見とどけ、へその緒も彼女が切りました。自宅出産を決めた時から早紀も家族の一員として妊娠・出産にきちんと関わらせたいと願っていましたからとても嬉しく思いました。

真澄は早紀が生まれた時の顔にとてもよく似ていてしつ

かりした顔つきをしています。早くも親馬鹿！尚美は当分静養期間をとりその間は一照が家事一般を担当します。彼は毎日オシメ洗いをしたり料理を作ったり掃除をしたりと忙しく奮闘しています。が早紀の時よりは楽しん



(?) やっているようです。

早紀はお姉さんぶりを發揮してきました。家族が増えて苦勞も喜びも一層大きくなることでしょう。工夫をしながらわれわれなりの家族を創っていきたいと思います。禅堂の仲間たちも喜んでくれていろいろ手助けしてくれています。

それでは、時節がらご自愛下さい。

千衣縫製に全力で

愛知県一宮市  
久馬慧忠老師

常宿寺庵主様より貴重な御

本を頂戴しました。よく存じ

上げている方ばかりでゆっく

り拝読させて頂きます。小生

も一宮福田会をはじめ、今吉

野福田会の千衣縫製に全力を

あげています。秋には例年通

りヨーロッパ福田会主催の袈

裟接心に参加のため渡欧し

ます。「伝衣」「方服凶儀」「良

寛」等提唱していますが、仲々

むつかしいものです。でもと

ても熱心で、時間の経つのも

忘れてしまいます。

今後ともよろしくお願い申

し上げます。

初心を  
忘れがちに自身に喝

秋田県  
渡辺紫山様

いつも「成寿」御恵送頂き  
ありがとうございます。また、  
この度は、父母の御袈裟の記  
事…。初心を忘れがちに自身  
に喝を入れられました。

糞掃衣を献上した老師が、  
五人遷化されました。私にと  
りまして、それぞれ本当に  
御法愛を沢山頂いた方々で  
す。朝課罷の内仏回向で毎日  
お読みする以外はございませ  
ん。いえ、その度に思ひ出す  
ことは、各老師の温顔と、お

叱りの言葉の一言一言です。  
皆様の益々のご健勝を心よ  
りお祈り申し上げます。

小笹会様から育英金  
ありがとうございました

名古屋市  
ビッグ D・P・バルア様

私はバングラデシユの僧侶  
で、現在愛知学院大学の大学  
院文学研究科宗教学仏教学専  
攻修士課程一年生です。四月  
に同じバングラデシユの僧  
侶、ギャナ・ラタナと一緒に  
善光寺様で先生にお目にかか  
りました。その時先生から成  
願寺小笹会様の御紹介を頂  
き、育英金の願書を頂きました

た。ありがとうございます。  
六月末、成願寺小笹会様から  
ご連絡を頂き、お陰様で育英  
金を下さることになりました。  
現在厳しい状況にありま  
すので、本当に助かります。  
ご報告方々心より御礼を申し  
あげます。

今後とも宜しくお願い致し  
ます。

知らないこと多く勉強

鎌倉市  
黒田和哉様

週日は帰山先生の会に御同  
席させて頂きまして光栄に存  
じます。又、「成寿」秋季号を

お送り頂き有難うございます。「足るを知る」特別読物と「お袈裟」についての文章、私にとっては知らないことが多く、勉強させて頂きました。三喜庵様の表紙、挿画などをはじめ拝見しましたが、立派な書、画、感服して見るばかりです。お心にかけて頂き厚く御礼申し上げます。

### 悲しみの支え

横浜市  
津田忠美様

毎回「成寿」をご恵贈いただきまして、誠に有難うございました。忠美は一昨年四月

に永眠いたしました。

人生の終りを察知していたのでしょうか。数冊の仏教に関する書物を読み、その中の一冊に「成寿」もございました。本当に安らかな眠りでした。その後、私の悲しみの支えとして読ませていただきまして、お知らせが遅くなりました。

育英会の御発展と先生のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。



### 中国からの 留学生に期待

東京都世田谷区  
吉津宜英先生

私のゼミの学生であった中国からの留学生、胡建明さんが留学僧育英会の奨学金を頂戴できることになり、心より感謝申し上げます。彼は大変菩提心の有る学生ですので、将来日本と中国との仏教の面での交流において活躍する人であると確信しております。益々のご発展をお祈り申し上げます。

調査のために  
中央アジア方面へ

二鷹市  
早田啓子様

成寿をお送り頂きまして誠に有難うございました。有難く拝読させていただきました。ペースで、これまでに出来ませんでしたが勉強やコンピュータなど新しいことにも首を突っ込んで始めております。

九月十五日より三週間ほど調査のために中央アジア方面へ入る予定で準備を進めております。歴史的にも仏教やイスラム教が交錯した地域で

す。帰国しましたら一度伺いたいと思っております。

前角禪が根付いて

栃木県鹿沼市  
皆川広義様

『成寿』誌御恵送有難うございました。先日、アメリカ・ロスの UCLA での心理相談セミナーに一週間参加した折に、禅センターを拝登してきました。前角老師亡きあと、米人だけで摂心されておられ、確実に前角禪が根付いていることを感じてまいりました。

今こそ世界の仏教徒が  
連帯すべき

東京都世田谷区  
島津源之様

方丈様の「足るを知る」の玉文を味読させていただきました。利他行の実践により仏性が磨き出されて来ると存じますが、すべての人がこのことに気がつけば、争いのない平和な世の中になるのではないのでしょうか。

欧米には仏教信者が増えていく由ですが、今こそ世界の仏教徒が国境や宗派を越えて連帯すべきであると存じます。



◎「成寿」秋季号に寄せて、たくさんのお便り有難うございました。

★増上寺 藤堂恭俊老師

留学僧座談会 私も仏教大  
学在籍当時、留学僧のお世話  
を致しておりましたので、と  
くに興味深く拝読させて頂き  
ました。

★駒澤大学教授

鈴木格禪先生

毎々の御高情厚く御礼申上  
げます。お袈裟の特集、有難  
いことでした。

★松戸市 石川大玄老師

黒田老師の「足るを知る」  
を筆頭に愛知学院大学の記事  
と、又お袈裟について宗門の  
泰斗の論文等、有難く拝読し  
ました。留学僧育英会や成寿  
の発行と何かと大変と思いま  
すが、どうぞ宗門のためは勿  
論、全世界のために御奮闘し  
てください。

★上智大学前教授

安齊 伸先生

特集お袈裟の「母親の一念」  
で老師方にお袈裟を贈り続け  
ている長野の池沢みなとさん  
の御息資剛さんが、上智大  
学を卒業されて吉田興山老師

のもとに出家されたことを読  
ませて頂いて、池沢母子の生  
き方に感動しております。

★駒澤大学教授

佐藤達玄先生

愛知学院大学の宗門におけ  
る存在価値を評価した秋季号  
は大変有意義なものでした。  
諸先生方の御論説や留学僧の  
手記感銘いたしました。釈尊  
の正法普及のため尚一層の御  
活躍を期待して止みません。

★横浜市 高野義郎様

愛知学院大学のこと初めて  
知りました。袈裟についても  
勉強させて頂きました。厚く

御礼申し上げます。小生物理について引き続き考えを進めておりますが、ギリシヤにつきましても哲学科学の面からまとめております。

★武生市 松野宗純老師

愛知学院大学についての記事は私にとって大変参考になりました。と申し上げますのは、十一月に在校生に対し講話を依頼され、丁度準備しているところでした。全く不思議な御縁と存じます。

★船橋市 久保田展弘様

「お袈裟」の特集に大変惹かれました。東先生の「日本

の和服はお袈裟の影響が極めて大きい」との指摘にも、啓発されました。

★新潟県南魚沼郡

新井勝竜老師

愛知学院大学の御紹介では知人の消息を知り、懐しい思いをしました。又お袈裟特集では、各立場からの諸説を知ることができ、編集の妙に感心いたしました。巻毎の充実、慶賀の至りに堪えません。

★長野県 小笠原隆元老師

一体どのようにしてこの大冊の寺報を編集されているのかとはるかに推察しつつ多方

面からの内容に圧倒されま  
す。洞門寺院の夢を実現されて  
いるものと敬服いたしてお  
ります。

★宇都宮市 小林 孝様

ご多忙な中で、二百頁に及ぶ取材と編集と、御苦勞のありましたことは新聞人としてよく判りました。他人のため  
に働く、御尊兄に見習うべく  
心がけております。

★茅ヶ崎市 波多野収通様

伊藤喜三郎先生ご逝去の由、本号にて知りました。「すべてのは過ぎ去って行く」という言葉をかみしめて

おります。そして「全機」の意義を改めて考えております。

★東京都 林 博明先生

特集「お袈裟」について著名の先生方から、「お袈裟は仏様の心であり仏様の体である。へもし袈裟を受持せんは、仏祖正伝すべし」歴代の仏祖が正しく伝えてきたお袈裟を正しく受持しなければならぬ「貴重な教えを学び再認識し、これからの宗門のために貢献しなければと心得ています。

★東京都 島田喜久子様

特集で池沢様の「母親の一

念」拝見し、永平寺へお供させて頂いた時のことをなつかしく思い出しました。あれからもつづけていらっしゃると伺い、何とすばらしいことと感服致しております。

★真岡市 村上 晃様

宗教上の難しい内容はわかりませんが、黒田先生の「足るを知る」は感銘を受けました。私も少しでも「足るを知る」人に近づきたいものと思いました。

★横浜市 土屋武彌様

八月下旬に長崎に行ったおり、成寿を旅のお供にバッグ

にしのばせ、宿泊地の平戸、佐世保、そして長崎と、ホテルでの灯火の書とさせていたきました。ゆったりとした気持で味わう「成寿」は、自宅でのそれとは趣を異にしたようです。

★茅ヶ崎市 黒田トシ様

方丈様の「足るを知る」読ませていただき、五十年を顧み、お陰様で自分の事ができる日常生活と環境の良い皆様のお力添えと感謝致しております。

★千葉市 藤田正子様

私は、故伊藤三喜庵先生の一弟子だったので、本中の先

生の御作品をとてもなつかしく拝見し、自分もこれから少しでも先生に近づこう努力したいと思っています。次号は先生の特別号だそうで今からとても楽しみにしております。

★平成八年八月三十一日付『中外日報』紙に『成寿』第二十六号の記事が掲載されましたので、一部分を紹介しませう。

— 編集部 —

横浜市善光寺（黒田武志住職）が発行する『成寿』の内容の豊かさ重厚さには毎号圧倒される。秋季・第二十六号は愛知学院大学とお袈裟を

特集している。（中略）

全編ほぼ二〇〇頁。『成寿』は五千部印刷され、宗門内外の各方面に配られた。巻末には読者からのメッセージのこもった便りが満載されており、この印施に対する大きな反響を物語っている。

黒田住職は「足ることを知る」の文章の中で、「生まれながらに持っている、あなただけのすばらしい宝」にすべての人が早く気づいてくれることを願い、「こんなにも自分が幸せなのだから、人にも幸せを与えたいという気持ちを一一人ひとりが持てば、きっと二十一世紀には世界中から暗い

ニュース・悲惨なニュースは消えていることでしょう」と結んでいる。この願心が全編に染み渡り、それが育英会の原動力にもなっていると思われる。



